

## ナシ「幸水」の側枝基部の環状はく皮処理による新梢発生促進

### [要約]

ニホンナシ「幸水」の側枝基部に4月上旬頃に環状はく皮処理を行うことで、側枝候補枝（予備枝）となる新梢を効率良く発生させることができる。また、環状はく皮処理は果実品質へ影響しない。

茨城県農業総合センター園芸研究所

成果  
区分

技術情報

### 1. 背景・ねらい

ニホンナシ「幸水」の安定生産には計画的な側枝の更新が重要であり、通常は冬期せん定時に基部からせん除し、翌春に切り口から新梢を発生させ側枝候補枝として育成する。近年、冬期せん定時に側枝をせん除しないで残し、1年長く利用して果実を収穫し、さらに基部から新梢発生を促す方法として環状はく皮処理方法が開発された。そこで、本県での環状はく皮による新梢発生方法の適応性および側枝の環状はく皮処理が果実品質に及ぼす影響について検討する。

### 2. 成果の内容・特徴

- 1) 環状はく皮処理による新梢発生の状況は図1に示すとおりで、環状はく皮区の新梢発生率は81.3%で、冬期せん除区の62.5%よりやや高い(表1)。
- 2) 側枝1本当たりの発生新梢数は、環状はく皮区は1.5本であり、冬期せん除区の0.8本より多い(表1)。
- 3) 環状はく皮区の平均新梢長は68.3cm、平均新梢基部径は8.0mmであり、予備枝として配置し側枝候補枝としての利用が可能である(表1)。
- 4) 環状はく皮区と無処理区の収穫果実の品質に差はみられない(表2)。

### 3. 成果の活用面・留意点

- 1) 環状はく皮処理は、切り出しナイフ等を用いてはく皮幅5mm程度になるように行った後、ビニルテープを巻いて保護する。
- 2) 環状はく皮処理は、4月下旬以降に行うと発生した新梢の伸長が劣る。
- 3) 切り出しナイフを用いた環状はく皮処理は、作業性が悪いため簡便な処理方法の検討が必要である。
- 4) 高樹齢樹や樹勢低下樹での環状はく皮処理の影響については明かでない。
- 5) 本成果は、「幸水」での試験結果であり、他の品種については検討していない。

#### 4. 具体的データ

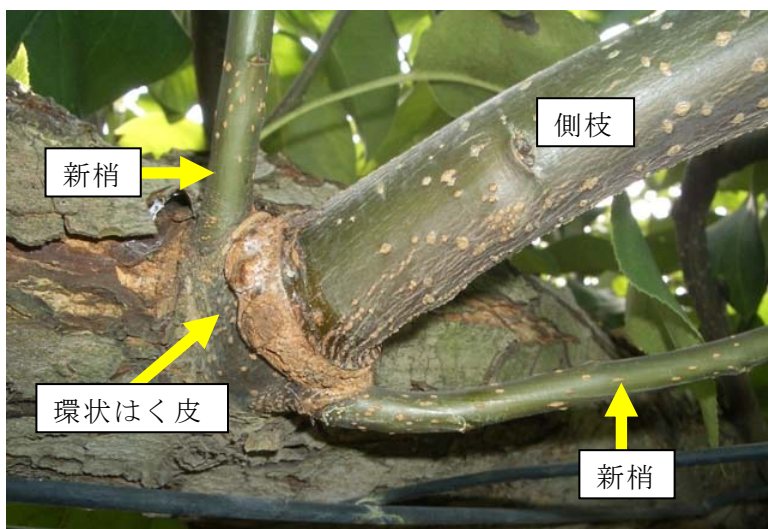


図1 環状はく皮処理による新梢の発生

表1 側枝基部の環状はく皮処理が新梢の発生に及ぼす影響(平成22年)

処理区	処理数 (本)	新梢発生率 (%)	新梢数 (本/側枝)	平均新梢長 (cm)	平均新梢 基部径(mm)
環状はく皮	16	81.3	1.5	68.3	8.0
冬期せん除	16	62.5	0.8	118.1	12.3
無処理	16	18.8	0.2	78.3	7.8

注1) 14年生樹の側枝基部枝齢3年生以上の側枝を供試し、環状はく皮は4月10日に実施した。

注2) 環状はく皮は側枝基部に5mm幅で行った後、ビニルテープを巻いて被覆した。

注3) 環状はく皮、無処理は側枝基部から発生した新梢、冬期せん除は切り口から発生した新梢を対象とした。

表2 側枝基部の環状はく皮処理が果実品質に及ぼす影響(平成22年)

処理区	一果重 (g)	地色	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	pH
環状はく皮	361	2.6	4.8	11.7	5.13
無処理	376	2.6	4.8	11.8	5.14

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

ナシの密植栽培及び根域制限による早期多収栽培技術の確立・平成21～25年・  
果樹研究室